

神無月：第7話「学校の学びを地域に」

10月27日（土）保護者にもご協力いただいた赤・黄・橙・緑の華やかな衣装を身にまとい、マリーンズクラブの演奏する「エル クンバン チェロ」の軽快なリズムに乗って学習発表会が行われました。

本校では、次の3つのテーマで学習発表会に取り組んできました。1つ目は、国語科、社会科、音楽科、道徳など、教科等の学習を生かして、劇や音楽発表を行うこと。2つ目は、練習の時から、友達のよさを見つけ、自分の演技に生かすこと。3つ目は、学校の学びを地域に発信することです。さらに、今年は7月の豪雨災害からの復興に向けて、学校でできることは、子どもたちの元気な姿を、演技を通して表現することで、ご覧いただいた方に感動と感謝の気持ちをお伝えすることだと考えました。



私にとっては、横浜小学校の学習発表会は初めての経験でした。いくつか気づいたことを紹介します。まず、横浜小学校の子どもたちは、これまでたった一人で多くの人々にセリフを伝えるという経験を積み重ねてきたので、体育館の後ろの席まで届くような発声ができていることです。1年生にとっては今年初めての経験ですが、2年生以上に負けな

いくらいよく通る声で演技を行っていました。1年の担任が基本的な発声について丁寧に指導をしました。また、事前の児童鑑賞会で他学年の演技を見て学んだこともその要因だったと思います。劇「サラダでげんき」というタイトル通り、子どもたちの元気が会場の皆さんに伝わりました。

また、地域の方に感動を与えられるように、工夫がいっぱいの演出がなされていました。2年生が演じた「東京2020おもてなし」では、人文字パネルを使って国旗が瞬時に変わるよう工夫し会場を驚かせていました。劇「ちいちゃんのかげおくり」を演じた3年生は、演技者といっしょにコール隊も、



かげおくりの動作を行うことで場面の雰囲気作りを行っていました。4年生は、「やりきろう～みんなでACTION～」の中で、ボディパーカッションという「楽器」（拍手や足音で音楽を作る）を使って、さまざまな花火を演じていました。5年生「まつりだ、わっしょい」では、全国の祭りを紹介しながら最後は曳船を使って、地元横浜のお祭りを表現していました。さら

に5年生は、66人という多人数の利点を生かして、集団の迫力をいかに発揮してくれました。6年生は、社会科の学習や平和公園の校外学習での経験をもとに、平和な社会を築くために「自分たちにできること」をみんなで考えて発表しました。会場のみなさんは、児童のひとつひとつの言葉に聞き入っていました。

こうして、学校の学びを地域や保護者の方に伝えることができ、子どもたちにとっても満足いっぱいの学習発表会ができたと思います。



校長 寺岡 成希